

名古屋通信

中部琵琶連盟聯合

名古屋琵琶界の權威者稲葉葵水師が理事長の中部琵琶連盟では、一九七〇年度初顔合せを兼ねた総会を二月十五日中区橋町千松館にて午前十一時に開会、各役員、会員三十五名出席、鈴木旭藤氏の開会の辭、稲葉理事長の挨拶につづいて事業報告並に会計報告あり、四十五年度の事業計画予定を協議した結果、秋の大会を十月四日福祉会館にて開催を決定した。理事畑田旭甲氏辞任により後任に前田旭城氏を推し、理事長より説明し全員一致で決定した。

橋会大会に協力

総会終了後、稲葉氏より四月名古屋で開く橋会全国大会には全琵琶人一丸となつて協力することを話し合い、出席中の松本、石河、志水、前田諸氏より中部琵琶各位に協力を要請された。

菅沼氏総伝披露会

一水会名古屋支部の春の演奏会は、菅沼馨水氏の総伝昇格披露を兼ねた大会とし五月十日市教育会館にて開催する。

中部琵琶連盟役員

中部琵琶連盟は、各流より一名づつの理事を選出しているが、役員左の通り。
理事長 稲葉葵水 ▲副理事長、橋青山旭登 ▲理事 水谷浩水、橋

谷岳陽、鈴木旭藤、湯川旭鐘、前田旭城 ▲参事 松本旭柳、鈴木叫水、山田岳巖、安部栄一郎、北川旭俊。

秋田県詩吟大会 空城流免状授与

秋田全県の本年初の詩吟大会と空城流吟舞昇伝者の免状授与式が二月八日ホテル安兵衛の百畳間で催され満員の盛況であった。この日にNHK専属の歌手やフジテレビのタレントも応援に登場され、非常な活気と賑いで各出場者も大喜びであった。吟舞空城流昇伝者への免状授与式も厳かに行われた。

賞状賞品授与

当日の百余人の出場中特に本会に協力された中村、岡野、丹子の三人に対し協力賞状と賞品を授与して表彰された外、功績顕著な村上朝香嬢へ永年功労賞を贈新報社より贈られた。他にNHK秋田放送局賞二人、ABC秋田放送賞二人、AKT秋田テレビ賞一人、秋田県新聞社賞二人、秋田県詩吟連盟賞三人へもそれぞれ贈られたので各受賞者の慶びが一際輝いた。

建国祭の祝賀賑う

二月十一日は産業会館にて建国祭が行われ、アトラクションとして詩吟と吟舞のハイライオンショー、藤蔭流の舞があり大賑いで好評を受けた。



琵琶特集 四月号

「芸の友」創刊二十周年に寄せて

財団法人日本吟詠 詩舞振興会 会長 笹川良一



世界の文化のオリオンピツクといわれる万国博のごとし、日本の伝統の一角を占める琵琶の雑誌「芸の友」が、創刊二十周年を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

私は、常々報道にたずさわるものにとつて最も大切なのは、取材対象に対する大きな愛情と客観的態度であると申しております。この二つなくしては、どんなにはであるうと、正しいマスコミとしてはありえないし、大きな成長も望みません。しかるに、鈴木督士氏は、もとも琵琶に深い愛情をもち、「芸の友」を創刊するやその愛情ある筆をもつて、常に大所高所に立つ

昭和四十五年四月一日発行

非売品

編集兼発行者 鈴木督士

精密部品加工業 (腕時計部品) 事務機部品
ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売
平井精密工業 有限会社
本社 所沢市日吉町17-13 電 0429 (22) 3175
工場 所沢市荒幡 218 電 0429 (22) 3660
社長 平井 円吉 (洲誠)

諸病に効く奇跡の温泉 超音波バス (入浴料 ¥ 300)
適応症 高血圧、低血圧、神経痛、リウマチ、痛風、心臓病、糖尿病、腎臓病、肝臓病、結核、呼吸器病、骨折、打身、ヒフ病、手足の他
東京都渋谷区渋谷2-14-13 日本超音波温泉株式会社 電話 (409) 4382~3番

お酒ご新鮮魚 大衆的実質酒場
荒井屋 友吉 澄水
東京浅草雷門横 電話(844)四二五一番

筑前 薩摩 三田村 琵琶製作
N.H.K.放送センター山町八番地
三田村楽器店 電話(渋谷)六八二一番

染料・染色助剤・化学工業薬品 合成接着剤・界面活性剤・製造卸商
戸谷染料商店 社長 戸谷 曙水
本社 東京都台東区下谷2丁目8の9 電話(873)3111, 3112, 3113, 3114, 3115
工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地 電話 草加0489 ②4955番

全国学校・病院・工場給食 即席 ロークス
カレー、ハヤシ、ホワイト
給食物資製造販売
取締役会長 稲葉新一(葵水)
株式会社 ロークス本舗
取締役社長 稲葉 卓夫
本社 名古屋市中区和区島西町2の7
営業所 名古屋市中昭和区東郷通1の2
電話 代表(882)6631
【厚生省許可特種栄養食品】

最古の伝統と最高の技術 薩摩琵琶 専門製作
附属品一式
石田琵琶店 創業明治十一年 三世不識
東京都港区芝区芝八丁 電話(芝)六五四八番
西久保巴町電話(芝)六五四八番

て琵琶人を激励し、琵琶の振興につとめてくれました。それだけでなく、高雅なる琵琶の精神を一般人に理解させることによつて、日本の道徳文化の復興に役だてようという高い理想を掲げてくれました。

信念を買いた 二十年 水藤 枝水



朝鮮京城より裸一貫で御息女と引揚げて来て、正に滅びんとする感あつた琵琶道を振興さすべく、敢然と起つて「芸の友」を創刊。その経営は苦難の連続であつた。

それでも、あなたはくじけなかつた。茲に創刊二十周年をめでたく迎へる、感無量である。月刊誌の寿命二十年は、さほど珍らしくないかもしれないが、終始ただ一人の力で編集され、経営されて育て来たというのは大変なものだと思ふ。

お祝いの詞 富山田 中重次



我等琵琶人のための機関紙「芸の友」創刊されてより茲に二十周年、洵にお目出度うと申し上げます。同紙の力によつて戦後沈衰せし琵琶界が今日再隆盛を見るに至りまして衷心より感謝致し居ります。鈴木社長さんの寿齢八十歳をお祝し申上げると共に益々御健勝と貴社の御発展をお祈り申し上げます。

祝 芸の友二十周年
祝 芸の友二十周年
笹川 良一
笹川 鎮江
鶴田 錦史
〒112 東京都文京区千石町二丁目三ノ一三 電話 〇七三二番
〒136 東京都江東区亀戸三ノ九ノ一九 電話 六四三二番

琵琶楽研究の二月例会盛況

琵琶楽の向上と新人養成のために熱意を注ぎ、毎月多額の犠牲を払って研究会を開くこと七ヶ年を主務田錦史師の徳望は同好一の崇敬の的となつてゐる。この研究会二月例会は十七日夜六時より鶴田師宅二階広間で開かれ、出席約五十名、一同好意こもる晩餐を共にしたのち七時より給谷氏の司会で開演、序番は錦史会の新人半田綾子嬢の「白虎隊」で開演、次は大館派の松崎洲氏の「黎明」輝水会の山田翠水氏の「薄陽江」等何れも氣迫こもる巧熟演が続き、水沢博士の川中島についての講演四十分の長講のあと、一水会本部山口速水理事の「川中島」の巧妙な演奏あつて九時十五分に演技は終了が各出席者はセキ一つせぬ緊張振り傾聴された。当日の出席者は鶴田会主、大館、小山田、松田、宮原の各首脳、水沢博士、

土、芸の友鈴木社長、友吉島田、石坂、給谷、桑原、平井の創立会同人、山田、松崎、岡夫人、中村、紅林、鈴木、彼ノ矢の各州楓会員、福沢、都、金森、山田、波江の輝水会々員、山口速水、岡夫人、鈴木、笹本、山田、松崎、末吉、河合、野川、岡田、北沢、藤川、白土の一水会各氏と、半田史華、綾子、吉川、高山いと、田鶴子の錦史会員の諸氏であり前月に比し欠席があつた。三月例会は二十日に開かれると。

花方旭嶺老師の花房会の新春会

東京筑琵琶界に於ける橋会派の良指導者として多数の会員を養成された長老格の師範花方旭嶺女史は、吟詠吟舞花房流宗家として百餘の会員を有し、常に家族的の温情で指導され、師と会員の間は母子のような和やかさで好評を受けている。二月二十二日正午より品川区戸越銀座のマルミ料亭で催された新年懇親会は花方旭嶺師と同流後継者の旭路女史を始め会員二十餘の主婦達に、来賓の愛琵琶家井坂旭良、松村旭奎、木下旭庵の三師範、芸の友社鈴木社長も出席され、花方会長の挨拶あつて懇親宴を開き、清興に吟舞「近江八景」と「児島高徳」の二題が会長の吟で上演され、続いて各会員の吟で順次行つて興を湧かせ、最後は全員に福引の余興であり実に和やかに三時過ぎ散会した。



(花方旭嶺師)

如月の琵琶振興会

鈴木密水会長の主催する日本琵琶振興会の二月例会は、二十二日午後一時より新宿中央口前第二尾津ビル六階歌舞練場で開かれ、水藤五郎氏の「五条橋」で開幕し、続いて山崎光水、山本隆水、吉川城水、佐藤旭天紅、坂入晴峯、望月輝江、松本諸水、軽部岳瑞、長井銀城、西村錦風、庄司錦桜、片岡松水、大井錦淀、井坂旭良、



(鈴木密水師)

大坪旭邦師活躍

現代筑琵琶屈指の名匠である大坪旭邦女史は、米國ロサンゼルス市に於て斯道の普及と研磨に専念され、同好の啓蒙指導に力を注いで居られるが、去る二月十五日羅府文化センターの会にヒルトンホテルにて女師は門人の溝口旭玲さんと「大補公」と「絃の調べ」の二曲を弾奏し、臨場されし日本総領事と副領事の方より賞讃のお言葉を受け面目を輝かせた。

一誠会本部移転

東京吟詠界の權威一誠流宗家伊藤長四郎師範師の一誠会本部は、江東区深川住吉町二ノ五に在つたが、会長伊藤師が昨年二月大病に罹り重態となり大田区久ヶ原の内山診療所にて専療を続けた結果経過よく最近は無事回復されつつある。然し十数年前交通事故で受けた後遺症で歩行不能となり病床に臥したままはお氣の毒である。このためまだ暫く静養を要するので深川の本部道場を昨冬十二月より久ヶ原一丁目七ノ二五へ移築工事にかかり二月完成された。

岳城流誠寿会結成

近世琵琶の絃藝と称えられた故名人吉村岳城師の岳城流誠寿会は佐藤岳英、軽部岳瑞両大家が指導して居るが、青年新人の入門者が続き精氣こもる研究心が強いので、この新人等で「誠寿会」を結成し、五月に第一回の琵琶演奏会を開くと。

菊水流静岡大会

五月十日に開催

当代吟舞界の女流第一人者永田吟詠女史の菊水流と、吟詠界の巨匠菅根嶺風師の菊水会本部は、静岡市へ支部を設置し大いに活躍され好人気を博しているが、今回支部設立記念静岡大会を来る五月十日午前十一時より同市公会堂に於て開催される事に決つた。当日は東京本部、静岡支部総会員の外に静岡県下各流派の名士多数が賛助として出演され、日本歴史絵巻を展開競演し、華やかな大舞台を披露し名実共に大衆を魅了す充実した妙技を上演するという。

原島女史宅表示変更

東京筑琵琶女流大家の原島旭粧女史宅は、住居表示制実施により四月一日から新宿区西新宿六丁目七番二七号と変る。

芸の友 二十周年 記念特集

「芸の友」創刊二十周年を祝う

笹川 旭 鳳



「芸の友」が、創刊二十周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

創刊の年の昭和二十五年といえ、まだ終戦による社会の混乱は消えず、物資の不足から人の心も安定せず、特に鈴木蒼士先生におかれましては、朝鮮から引揚げられたばかりで、さぞかしいろいろの御苦労をなさつたこととお察しいたします。にもかかわらず、そのうした御苦労をのり越えて「芸の友」の刊行に心血をそそがれ、何時も私たち琵琶人を励まし、伝統芸術としての琵琶の振興につとめながら、同時に「芸の友」を立派に育てあげられましたことに、深く敬意を表する次第でございます。いま、私たちのまわりには、沢山の新聞、雑誌が刊行されておりますが、琵琶の専門紙は「芸の

お祝いの詞

琵琶吟大和流宗家 橋宗宗範 山崎 旭 華



「芸の友」二十周年記念号御発刊誠に御目出度う存じます。思へば月日の経つのは早いもので、先生が朝鮮御在任の頃は、一介の名もなき私を常に御支援御指導を賜りました、あの時代の事共決して忘れては居りません。数えれば三十有年の長きに御交誼を頂きました事本当に有難く存じます。それを取り返ります時、一年一年の年の輪こそ尊いものでござい

芸の友二十周年 記念を祝つて

輝派輝水会本部 会長 福沢 立 枝



「芸の友」創刊二十周年誠に御目出度う御座います。心からお喜びを申し上げます。誠実と努力による芸の友社の今日の御発展を鈴木先生も定めし御満足の事とお察し申し上げます。国内は申すに及ばず、遠く海外の同好の皆様とも心の手をつなぐ琵琶界の道しるべ……「芸の友」の功績大なりと存じます。今後はただ先生の御健康のみ念願致します。

祝 芸の友二十周年

鈴木鉦次郎

114 東京都北区田端町一五三 電話 〇六六六一番

輝水会本部

東京都文京区本郷五丁目二ノ三 電話 小石川 〇七五七四番

田中 歴 水

富山県太田口通り一ノ六 電話(25)代番二二(45)七六六番

関西振興会

558 大阪市住吉区我孫子町一ノセノ三 電話 大阪 〇六五七五番

杉山 清 峯

145 東京都大田区東雪谷三ノ六 電話 〇二六三九番

玄海琵琶宗家

忍耐勝運命

秋声会本部
会長 前田 秋声



邦楽芸能界の中でも特に複雑な琵琶界を二十年の永きに亘り、斯界の発展と向上を図り、また高齢の身をもつて北海道から九州まで歴訪し、同志を激励し、幾多の苦難を乗り越え、忍耐と努力が実を結び、今日を迎えられたことは、心から御慶びの至りに存じます。

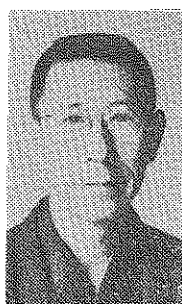
「芸の友」紙の内容も充実し、まさに琵琶界機関中の随一と言つても決して過言ではないと信じています。

住き日に、朝鮮で活躍された故松井清水先生の姿を見られぬのは洵に残念に思います。

最後に鈴木社長の御健康と御発展をお祈り申し上げます。

「芸の友」二十周年を祝して

一水会本部名誉会長
松田 静水



願れば二十年前、京城より敗戦の傷跡生々しい露の東都に引揚げられ、琵琶界の復興、敗戦による国民の身心動乱を鎮めんと決意

名人技

四絃琵琶寄曲会
会長 望月 啞江



願り見れば、私が大正十三年の秋、雨宮薫水先生の紹介で、初めて朝鮮京城の公会堂での琵琶演奏大会へ、神戸蔵本司水、故石坂競水、外諸先生と出演。その後も当時在籍中の威鏡南道新興の水電建設工事所長、瀬戸頑水先生（現在横須賀市）の依頼で、続いて昭和の始めまで毎年八月に、一ヶ月間に亘り朝鮮各地二十数ヶ所の会に出演しましたが、その都度何かと社長の御尽力に預り感謝に耐えぬ次第です。

来る四月十八日の御催しには、是非出席させて頂きますが、この

業界機関紙編集発行の難しさは多少なりともを経験した者ではないと想像がつかないものです。

「芸の友」発刊二十周年を祝す

東京 鈴木 鉦次郎



どんな小さな事業でも、その仕事を完成することは並々ならぬ苦心があります。

鈴木菅士氏は、終戦後大変な御苦勞の末、朝鮮より引揚げて参られました。その鈴木氏が、日本の復興は文化国家としての再建に、先づ国民性を造る事が第一と心に強く思い、古典芸術である日本琵琶道機関紙の発刊を決意し、この時代には琵琶道機関紙は全く

「芸の友」の青春を祝す

東京 生重 定

私が初めて琵琶綴り方を書いたのは、京城の「芸」紙上でありました。思えば切つても切れぬ琵琶との永くて深い縁でありました。

戦後琵琶界の消長と共に歩んで来た「芸の友」は、ここに二十歳の青春を迎えたところで、その前途は洋々としています。歲月と云う激しい流れの中に、半世紀に亘る盛衰を辿つて来た私達は、今大きな何物かに直面している様です。情報時代と云われる今日、芸の友を手にすれば琵琶界の情勢は大観される。絃界の隅にどんな新しい運動が起りつつあるか、私達はその報道を待つものであり、芸の友の筆陣の益々牙えんことを祈つて居ります。

本社20周年記念自祝会

四月十八日上野精養軒で開く

琵琶界名士三百名へ招待状

本社発行の「芸の友」創刊二十周年記念自祝会は、八重桜の咲く四月十八日午後四時より東京の名所であり史実の地である上野公園内の名店精養軒に、全国的に亘る広範各地の琵琶と詩吟界各流派の司権者並に著名大家三百数十名を招待して開かれるので目下その準備を進めている。

此の催しは、本社創立以来二十一年間に、社長鈴木が各地有志の招聘を受け、また斯界の実状視察のため北は北海道から南九州長崎まで旅行され、各所で優遇を受けられた諸氏の厚意に対する万分の一の感謝意を含め、二十余年間続刊の自慰の小宴である。望むところは此の機会に各地同好有志の語り合ひで親善を増し、流派的な固執を忘れ、超党派的な提携で斯道発展の協力一致へが願わしい。

各名士への招待状は三月三日に発送済みであるが、早くも三月中旬の本号編集締切りまでに御出席の返信を頂いた方は、東京並に近県の神楽川、埼玉、千葉、茨城、群馬、山梨の各県から東海、近畿、山陽、北陸、東北の諸県及び遠くアメリカよりありて百名に達している。返信締切りの三月二十八日までは相当数の御出席を得られるものと期待している。

名匠の祝奏決定

各地より有名人の御参列下さるこの催しに対して本社は最善の感謝の意を表したく、琵琶界の最高峯の名匠へ懇請し、開宴までの一時間半に入神の妙技ご清聴を煩わすべく手配した結果、御出演賜わる事が決定したのは左記の通り

- 錦心流 友吉澄水師
- 筑前派 山崎旭華師
- 錦琵琶 水藤錦穂師
- 吟詠 雨宮国風師
- 吟詠 笹川鎮江師

以上五師の御快諾を得たので当日は真に後世に残る印象的な妙技のお楽しみが期待出来よう。この五名人の出演される外、特別協賛として琵琶界の大先輩であり日本ただ一人の石笛の名人、京都在住の江頭法輪老師が本社長と旧知己の誼みで来臨され石笛吹奏を披露し錦上更に花を飾る予定である。この機会に洵に残念に堪えないのは鶴田錦史、山元錦城両名人の出演出来ぬ事である。鶴田師は万国博へ出演の新作曲研究に寧日なき多忙で止むなき事情となり、山元師は十九日鹿児島市にて開く錦城会全国大会のため西下されるので

繰り合わせがつかぬ事情となつたことで、返すがえすも残念のことになった。

二十周年に

寄せて

西宮 松野 紫雲



貴誌創刊二十周年にあたり、心から御祝を申し上げます。

願みれば、二十年前の我國はどうであつたか、世上の混乱は筆舌を絶し、日本は何処へ行くの感があつた。

その時貴下が、然も最も世間より忘れられ、滅亡寸前の琵琶詩吟を取り上げられ、敢然としてその復興に志を入れ、貴誌の刊行となつた。その志はどこにあつたか。然も御自身は全々噂まれない此の道であるのに。

思うに滔々と流れ込む欧米文化、物質文明に押し流されんとする東洋文明を喚かれ、決然としてその文化の底辺にある琵琶詩吟を掲げ、これを指導鞭撻して比類稀なるあの琴線に忘れぬ日本精神を呼び戻し、豪放なる歌声に東洋文化を甦醒させ、そして一日も早く健全なる芸道の中に我國本来の姿を見んものと思われたと拝察するのであります。

お祝の言葉

西の宮 三浦 蓮水



この度御誌「芸の友」が、創刊二十周年を迎えられました事、まことにめでたく、心からお祝い申し上げます。

大阪の電通会館で始めて鈴木社長にお目にかかりましてより十幾

万国博へ二十億円 笹川会長より寄附

博愛主義の大思想家として有名な日本屈指の大実業家である日本船舶振興会々長笹川良一氏は、競艇関係団体で四十三年末から万国博協賛特別レースを開催して集めた益金二十億円を三月十日に、笹川良一会長から日本万国博協賛会野副会長に運営費の一部に当てるため寄附金として目録を贈呈された。笹川氏は青少年非行防止のため精神修養と心身鍛錬に常に詩吟舞と琵琶芸術を奨励され、含気道を奨め、青少年善導に尽くされ居られ、また世界各地に難民救済の医療施設も建て全人類の幸福のために活躍されている救済主である。

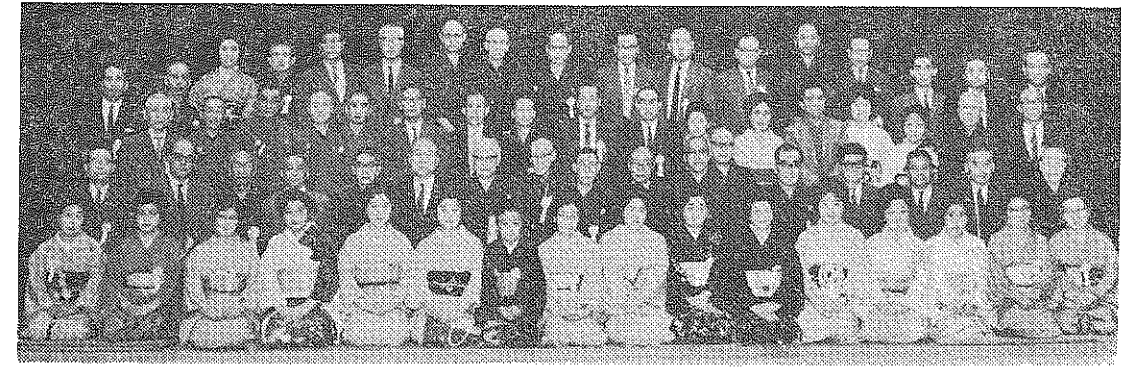
年、本年八十歳と伺いますが、その頃と全くお変わりなく、頗るお元気に琵琶詩吟の報道に活躍され、斯界の興隆に尽力されました事、琵琶人の一人として感謝申し上げます。毎月末に、きちんと送つて戴く「芸の友」が、二十周年を迎える迄の御苦勞は人知れぬものがあられたことと察し申し上げます。この長い間、お嬢様の喜美子さんがお父様への御協力、美しい筆跡もお人柄がしのばれて、報道の御旅行に影の様に付き添われ、やさしく、お父様のお世話をなさるのをほほ笑ましくお見受け致しました。益々御自愛遊ばされ、琵琶界のため御活躍「芸の友」の御発展を切望いたして止みません。

十五周年の記念会回顧

本社の友の友創刊十五周年記念大会は、昭和四十年四月十七日新宿安田ホテルにて開催、出演者八十六名、奏曲三十三曲で随筆各流全国名手と吟界の巨頭連で、琵琶空前の陣容も杜撰であつた。翌十八日麻布プリンスホテルにて祝賀パーティを開き関係者百余名を招待し盛儀を極めた。



(回顧) 本社十五周年式典と大会記念

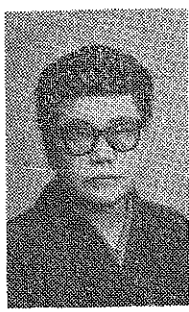


世界に鵬翼を披いた名匠 琵琶楽壇 鶴田錦史女師 の至宝

五月三十日万国博へ出演される

限りである。

三月十五日大阪府千里丘にて開場された日本万国博覧会は、世界七十七ヶ国が参加し、博覧会の規模としてはかつてない最大のものであり、日本全国の関心も深く万博ブームに沸き立っている。この博覧会は世界文化の進歩と人類の調和をテーマに各国より最高最大の文明利器製作品を展示し、産業の威力を示すのみでなく、各国の



(鶴田錦史師)

風俗や芸能まで持込んで観客を魅せお祭り気分を醸成させ、観光客誘致策の一役にと競われるのである。この膨大な会場に建ち並ぶ展示館や遊技場は二百棟に近く、一通り見て廻ると七日間、細かに廻ると三十日間を要すると云うが、会期六ヶ月間の入場者の予想は五千万とも七千万とも言われ如何に人気を呼ぶか興味多いことでもある。此の会期中の五月三十日に鉄鋼会館音楽堂へ世界的楽壇の名匠と謳われ、名声比びなき琵琶の至宝鶴田錦史師の美演が決定した事は琵琶のため喜ばしい

八面鏡

桜花咲く四月となつて、よい琵琶楽壇の開幕期となつた。待望の日本万国博も一足お先に大阪で華々しく開場され世界文化の花が咲き揃いお祭り気分の世界各国の名演技が競われている。この好季に東京上野公園精養軒に於て我が社の二十周年記念会が全国琵琶界の名士多数を迎えて邦楽最高の名演技を清聴し祝賀を捧げるのが楽しい。琵琶と詩吟は日本人伝統の精神芸術で世界に誇り得る礼楽であり、情操教化に必須の健全な芸術でもある。明治中世から大正、昭和の大戦突入期まで全琵琶界を風靡した隆盛も敗戦の憂き目で進駐軍の忌避にふれ沈没の悲運にあつた。これを復活さすべく烽火を放つたのが本紙である。苦節二十年漸く復興の軌道は敷かれたが目前点に到達するまでには又々遠い。乗用車は立派でも操縦者が未熟では安全運転は難事である。琵琶と詩吟は常に高尚な芸術であるがこれに携わる人々の心がけ一つで好まれますれば敬遠もされる。

馬瀬槍水師入院

関西琵琶界の重鎮である一水会大阪支部長の馬瀬槍水師は、昨秋十一月よりリウマチを病み治療中であつたが、病勢進んだため一月末に大阪市福島区堂島浜通り三ノ三ノ一関西電力病院六階六〇三号室へ入院され専心加療中である。

御努力に感謝

米田サンフランシスコ橋会館 山本旭爽
二十年と一口に申しますが、どんな芸道誌等もなかなか二十年の永続はむづかしく聞いて居ります。殊に琵琶道誌にいたつては、更その御努力の程お察し申上げます。私ら遠く海外に居りまして毎月欠刊もなく故国の琵琶界情勢を如実にお知らせ頂ける事を本当に感謝致して居ります。心からお祝いを申し上げます。

祝歌

東京 吉成登城
二十周年を讃えて
おとろえし、なにより敢えて筆を執り、琵琶を支えし偉烈をたたえん。
八十歳を祝つて
八十余年(トセ) 嬰操(かくしやく)として今もなお、琵琶一筋の意気(とう)とし。

山本旭爽女師来日

米田サンフランシスコ永住で、同地琵琶壇一の巨匠として多くの会員を指導し、普及に功績顯著な橋会館館長山本旭爽女師は、仏教婦人団の訪日観光団に参加し四月十二日大阪空港着で令息同伴来訪される。大阪より郷里広島で喜参を済ませ上京し本社の二十周年自祝会へ参列の予定である。

名古屋の新春大会 石河薫楓師一門 好評の舞台面

名古屋の芸能タイムズ社主催の新春芸能大会が一月二十五日(中)劇場にて催され、各種芸能界の名手が出演し、華やかな大舞台を展開して満員の観衆を沸かした。当日同地琵琶界切つての名花で人氣者の石河旭桜さん(吟詠江楓流宗家石河薫楓)女師が一門の花形二十数名と共に「茶道吟」で出演し、優雅な大舞台で好評を博し、盛んな人気を浴びた(写真中央後方の留袖紋付婦人が石河師)

山元宗家統帥の錦城会全国大会

四月十九日鹿兒島 島道会歓迎
現代吟詠界の女王と称えられ、威勢並びなき巨匠錦城流宗家山元錦城師は鹿兒島出身の女傑で詩琵琶界稀れに見る成功者であるが、師は東京移住以来十数年振りて始めて郷土に於て一門の精鋭花形数百名出演の詩吟詠錦城会全国大会



(山元錦城師)

を四月十九日十時より鹿兒島県文化センターにて開催される。この快挙に当り同県知事、市長並に新聞報道関係者や県出身の政財界の諸名士も協賛歓迎の意を示され、錦城師は正に故郷に錦を着飾る思いであらう。

此の日出場数百名員による演技は、その殆んどが吟吟、連吟で賑やかな舞台であり特別番組として出演される「姫百合之塔」、「城山の月」、「やまとうた」の三場面は、山元師が精魂を傾けた企画構成作品で、舞踊、剣詩舞を配つた琵琶舞物語の大作で、錦城会独特の演し物の大舞台である。他にも書道吟、舞等が高級会員の吟で上演される。

同大会の出場者は山元宗家、錦城会本部の大幹部、都道府県各本部並に支部、教場の名手連で特に九州地区と関西地区の精鋭が多いこと、海外移住の成功者も多く出している県人と深い関係にある在米吟詠団尚道会の訪日団休杉田国峯師以下三十余名が特に歓迎されて、交歓出演される事で、愛吟同好の温かい雰囲気醸成情景を再現されるであらう。

鈴木実氏欧州視察

鈴木鉦次郎氏の長男実氏は、松竹映画会社の営業部長であるが、今回欧州各国の映画界視察のため二月二十八日羽田空港発で渡欧され、イタリ、フランス、ドイツ、オランダ、スウェーデン、ギリシの各国を廻つて三月末に帰国される予定である。

故田辺蘇川師 追悼琵琶大会 五月十日に挙

故永田錦心宗家と並び称された蘇川流宗家故田辺蘇川師逝いて四年、師の遺徳を偲ぶ回会員並に十日会員は、未亡人田辺錦波女史及び関係有志と故師の追悼琵琶大会開催を企画されつつあるが、来る五月十日東京銀座交詢社に於て挙行を決めた。多数出演の予定と。

松本重太郎氏逝去

名古屋橋会の重鎮松本旭柳女史の夫松本重太郎氏は、病氣療養中の処二月二十六日夜九時五分逝去されしとは痛惜の限りである。葬儀は三月六日午後一時永平寺名古屋別院で行われ盛葬であつた。故人は全国業新聞協会々長、菓子館新聞社会長、愛知県菓子組合総連合会参与とゴルフクラブ社長地位にあり、信望厚い温厚の紳士で特に琵琶を愛された。茲に謹んで敬悼し御冥福を祈る。

